## 北陸信越ブロック

# ブルガリアへ、茶道文化交流団

### 茶を学ぶ学生たちが点前披露

### 許状の伝授、茶道具・茶道図書を贈呈

団長・岡　宗能ブロック長　記

淡交会青年部北陸信越ブロックは、品川一郎福井支部長、村上利行淡交会総本部総務部長両名を顧問として、十月二十一日から二十九日までの八日間の日程で青年奉仕隊三十六名をブルガリアへ派遣いたしました。

我が国では「ヨーグルトの国」として名高いブルガリアは「緑溢れる美しい田園国家」・「西洋と東洋が交わった独特な雰囲気を持つ国」などとも言われていますが、ほとんど知られていないのが実情です。

団員一同、モスクワ駐在の西川宗篤先生と今春みどり会を卒業されて現地に帰られたクリシィ・プラホバさんを頼りに、詳しい予備知識も持たないまま出発しました。

首都ソフィアにおける四回の茶会や懇親会、古都プロブディフにおける歴史的な建造物での茶会と、連日ハードな日程が組まれていましたが、キリルとメトディウス国際文化交流基金の茶の湯の会において、裏千家茶道を学ぶ同門の人達との協力により、そのすべてを順調に運営することができました。

特に、今回お家元よりブルガリアでお茶を学ぶ高校生、大学生に「入門・小習」の許状が伝授されました。学生達のきびきびとした所作や見事な美しい点前を披露する姿は素晴らしく、目を見張るものがありました。これはひとえに西川先生とクリシィさんによる指導の賜物と思います。

また、お家元、納屋宗淡宗匠のご協力による茶道具と茶道図書の贈呈式も行いましたが、学生達の喜ぶ姿に一同驚かされました。

今回はお家元が提唱しておられる『一盌からピースフルネスを』の具現化の実践にと奉仕隊が派遣されましたが、私達の行動の全てが、お家元をはじめとするご宗家の皆様方が今まで茶道を通して世界平和、文化交流を目指して積み重ねてこられたご尽力の賜物と深く感じました。

これからもブルガリアと日本が茶道を通して、より一層文化交流を深めていくことを団員一同祈念いたしております。

二十二日、首都ソフィアの人民文化宮殿でのデモンストレーションと茶会㊤㊥、二十三日は文化省を表敬訪問（中央は文化省代表のセンノヴァ氏）㊦

なお、本団は帰路ウィーンにて二日間滞在しました。

## 平成八年度　地区大会日程

**第二十九回東京地区大会**
三月二十九、三十日　東京第一東・西支部担当

**第三十四・三十五回近畿地区大会**
四月十二日　西播磨・大阪西支部担当

**信越北陸地区大会は、仙叟宗室居士三百年遠忌の大会とする。**
四月二十六～二十八日の三日間

**第二十九回関東地区大会**
六月十四、十五日　群馬県支部担当

**第四十回東北地区大会**
六月二十一、二十二日　岩手支部担当

**第三十七回北海道地区大会**
九月九、十日　札幌第二支部担当

**第四十一回九州地区大会**
九月二十、二十一日　佐賀支部担当

**第三十二回東海地区大会**
十月十八日、十九日　愛知第三支部担当

**第二十八回四国地区大会**
十月二十五、二十六日　高松支部担当

**第三十三回山陰地区大会**
十一月八、九日　米子支部担当

**第三十二回中国地区大会**
十一月十五、十六日　広島支部担当